

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらり水島 あかり		
○保護者評価実施期間	R7年1月14日		～ R7年1月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	R7年1月14日		～ R7年1月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児やその家族について、職員間で情報や支援を共有していること。	日々、個別支援計画についての話し合いの時間を設けている。 各職員が日々の様子を記録している。	利用児の様子だけでなく、より個別支援計画に沿った内容で話し合いを進められるよう意識している。
2	生活面・認知面・コミュニケーション面と、それぞれの場面で家庭や集団生活に般化できるよう支援を組み立てていること。	多職種がそれぞれの専門性を活かしてお子さんの強みや芽生えに働きかけている。 引き継ぎ・懇談時間を設けている。 家庭や関係機関に引き継ぎや訪問を通して共有を図っている。	関係機関とのやりとりに差があるため、今後も積極的に働きかけて支援の方向性を統一していきたい。
3	近隣施設や季節の行事への参加の機会があること。	こども関連の事業所や公共施設、公園が多く、事業所外の遊びに触れたり、人と接したりする機会がある。	より回を重ねることで、こども同士のふれあいを期待する。 事業所のことを知ってもらおう取り組みに繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ハード面(環境・構造上)の課題。	施設の老朽化。	療育室の全カーテン・レールを付け替え、プライバシー面・室内の寒暖差対策がとれた。今後も優先順位を立てて修繕に努めたい。
2	保護者との面談の設定。	自主送迎の保護者とは利用毎に引き継ぎ時間を設けられるが、事業所送迎の家庭とは、定期での懇談・面談時間となる。	懇談が保護者からの希望でも設けられることと、電子連絡帳や電話でのやりとりも可能であるため、その旨を集団・個別に知らせていく。
3	保護者同士の交流の機会。	公益活動(重心医ケア児対象活動と茶話会・装具等に関するお話し会やお話会等)は案内するも会場が遠方であることや都合が合わず参加に繋がらない。	今年度は契約日に保護者交流時間を設けた。 公益活動(茶話会)やペアトレの参加案内を保護者希望も聞いた上で設定したい。